



販売店の選び方 4箇条

The補聴器専門店中村
代表 中村雅仁

1 有料相談の販売店へ行く

無料相談かつ無料貸出しは出来るだけ避ける
物価上昇の中、全てが無料、、、は明らかに無理があります。
合わない時に、きっぱり断れる強さがある方はよいですが、
そうでない方は、最初から有料相談をおすすめします。

◎有料相談 相場3000円～5000円

2 購入後に通えるか？もしくは自身で郵送手続きできるか？

楽しみ、趣味とセットで通えるか？
(買い物や習い事のついでに寄れる)
仕事とセットで通えるか？
(勤務先や訪問先の近くで)

自身で補聴器の郵送手続きが出来るなら、
遠方の店でも可。
定期的クリーニングも郵送で対応する店、
遠隔調整に対応している店もあります。

3 貸し出し期間を必要以上に長く取っていないか？

効果が出ると感じたら、
信頼出来ると感じたら、
短期貸出、即購入で良いはず

何故、長期貸出を行うのか？
●調整技術に不安ある
時間をかけて断りにくい間柄になる。
●面会時に別途費用を払うシステムに
なっている
(補聴器外来の場合、別途費用はかかります)

4 販売店のここを見る！！

●メーカーは複数扱っているか？

直営店の場合、特定メーカーには深く精通している一方、
一度合わない音質だと、代用がなく、ユーザー側に恒久的な不満に繋がる

●やたらと定期的な来店を求められる

取り扱いに不安のある方を除き、掃除等、ご自身でも対応出来る事は多い

●購入後にかかるコストについてキチンと明文化しているか？

マル秘レポート

『販売店のレベル』

最低、認定補聴器技能者のいる店

できれば認定補聴器技能者自身が対応する店が良いです。

次に、認定補聴器専門店を優先的に見当する

認定補聴器専門店は、

耳鼻科と連携しており効果測定を行う設備は有していますが、
果たして実際に効果測定を実施しているか？

ズバリ、していない店もあります。

逆に、認定補聴器専門店ではないものの、

効果測定を実施する店もあります。

(昔からある店に多く、今さら敢えて取らないといった店も)

設備投資を継続的に行っているか？

開店時に購入した設備から、

いっこうに変わらない店もあります。

全ての機器は劣化します。

補聴器販売店の機器も同じ。

機能維持するためにメーカーに有償で校正作業を依頼します。

費用が発生する事、代替え設備の設置が手間等で認定制度の条件にある【5年に一度】しか校正を行わない販売店もあります。

より良い店選びをするために…

- 1 じっくり対応して貰える【予約制】販売店がおすすめ
- 2 自信のある販売店は補聴器周辺機器にに継続的に投資を行うため、値引きはしない。

というよりも、出来ないのが実情です。

測定時間=コスト、効果測定にも必要機材が複数必要
これらすべてコストです。

通常よりも原価が高いのがその理由

以上、補聴器販売店の選び方 4箇条でした。

本資料が、『より良い補聴器選び』
に役立てていただけたら幸いです。